



2020年1月20日

各 位

会社名 株式会社シルバーライフ
代表者名 代表取締役社長 清水貴久
(コード番号：9262 東証マザーズ)
問合せ先 取締役管理部長 今尾次郎
(TEL. 03-6300-5629)

東京証券取引所市場第一部への上場市場変更承認に関するお知らせ

本日、当社は株式会社東京証券取引所の承認を受け、2020年1月27日をもちまして、当社株式の上場市場が東京証券取引所マザーズ市場から東京証券取引所市場第一部へ変更されることとなりました。

これもひとえに、株主の皆様、お客様、当社加盟店様、お取引先の皆様をはじめ、多くの関係者の皆様からのご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

記

1. 上場市場変更の目的

当社は、「我々シルバーライフは、食の観点から 誰もが安心して 歳を重ねていける社会を作ります」を経営理念とし、自分で調理することや買い物に行くのが困難な一人暮らしや要介護の高齢者の方が、手間をかけず、安心して食事をしてもらえるよう、手ごろな価格で弁当を用意し、毎日自宅に届けていく「まごころ弁当」「配食のふれ愛」のフランチイズ本部を中心に事業を展開し、高齢者等に食材を提供しております。

当社は社会的公器になるべく、2017年10月に東京証券取引所マザーズ市場に上場しました。今後さらに社会的信用を高め、経営基盤の強化を図ることで、今後も増えゆく高齢者を中心に、安定的に食事を提供していく社会的責任を果たしたいと考え、東京証券取引所市場第一部への変更申請を行いました。

2. 今後の見通しについて

2020年7月期については、2019年4月に開始した冷凍弁当の直販事業拡大のため、広告宣伝費を積極的に投入しました。これにより、第1四半期では営業利益が前年を若干下回り、通期計画の進捗にやや遅れが生じております。ただし今後については、冷凍弁当の直販事業が順調に伸びており、売上高広告宣伝費比率の効率化等を進めることで、通期業績は期初計画通りを見込んでおります。

2021年7月期については、現在建設しております食品製造工場の稼働を予定し、工場稼働初年度は減価償却費等諸経費が増加することで、利益が前年を下回る恐れがあります。しかしながら新工場は、既存工場である第1工場の食材生産量から最大4倍の生産能力を持ち、当社にとっては、今後約30年続く後期高齢者増加に伴う需要増を見据えた積極投資であり、伸びゆく高齢者向け配食サービス市場でシェアを拡大するための必要な先行投資と捉えております。

なお、減価償却費を始めとした工場稼働に伴う影響額は稼働時期により大きく変わる可能性があり、現在は未定です。影響額については、合理的に算定できるようになった段階で直ちに公表いたします。

3. その他

東京証券取引所市場第一部への市場変更に関する詳細につきましては、日本取引所グループのWEBサイト (<https://www.jpx.co.jp/>) をご覧ください。

以 上